

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（若杉保育園）

期 日：平成27年11月27日（金） 17時13分～18時00分（保護者協力の大掃除後）

場 所：若杉保育園 遊戯室

参加者：保護者3人、園長・保育士2名

【意見内容と回答】

○説明者側から、「方向性として適正化はやむを得ないと考えているのか、それとも絶対反対と考えているのか。」教えて欲しいという問いに対して。

◎女性

やむを得ないと考えている。家が木原なので山武西小だと思っていた。今後少子化が進んだ場合に、次の統合は考えているのか。

○教育総務課長

いずれかはそのようになるのかもしれないが、学区の大きさもあり、通いきれないことが出てきてしまうかもしれない。当面の間は今回の組み合わせで行く可能性が強いと考えている。

◎女性

スクールバスはどこまで考えているのか。

○教育総務課長

スクールバスについては、利用者、学校、地域の方と話をしながらルールを決めていくことになる。先進地では、きめ細かく迎えに行くと乗っている時間が長くなってしまいうこともあり、何か所かに集まってもらい送迎している。やり方については、統合の時期が決まり、準備段階でよく話し合いながらと考えている。

◎女性

中学校は？

○教育総務課長

中学校も確かに学区が広がるが、基本的には自転車通っている。必要だということになれば、考えざるを得ない。中学校については、バスの運行時間により、部活が出来なくなってしまう。その兼ね合いも出てくると思う。

◎女性

統合したときの校舎はどうなるのか。山武北小の方が新しいが、どちらを使うのはどのように決まるのか。

○教育総務課長

視点としては、新しさ、通いやすさ、スクールバスの運行経路を考えたときの乗降場などを考慮し、提案させてもらい、保護者や地域の方と検討していくことになると思う。

◎女性

山武北小と、睦岡小の体育館の改修を行っている。統合の計画が進んでいるようであれば、もったいないのではないのか。

○教育総務課長

体育館を修繕している目的は、天井材や電灯などの非構造部材の耐震性確保である。避難所としても使用するので、非構造部材が落下しないよう、平成27年度までに改修するよう国から通知がきている。そういうことから今回改修を進めている。統合の時期もはっきり決まっていないので、学校施設の安全性確保をし、市の持ち出しが少ないやり方で必要な修繕をしている。

◎女性

廃校になったときの跡地はどのようになるのか。

○教育総務課長

話し合いをしながらいい方向を考えていく。有効な活用方法があれば、地域の方で使っていただくこともあると思うが、財政部局から案としては解体という選択肢もある。何が一番いいのかを皆さんと一緒に考えていく。

◎女性

避難所とかも少なくなっていくが。

○教育総務課長

避難所として使っているので、避難所をどのように確保していくかといくことも含めて協議が必要であると考えている。

◎女性

スクールバスについて、広い道が少ないので、子ども達の乗降場の確保や道路の拡幅をお願いしたい。また、運行にあたっては、添乗員が乗るのか。

○教育総務課長

添乗員については、今後の話し合いになると思う。他の事例では、運行当初だけ乗って、後は上級生が面倒を見ているということもある。

◎女性

学年によって帰宅する時間が違う。行きはほとんど一緒だと思うが、帰りの時間が違うとか。そういったところを詰めていかないと。

○教育総務課長

他の事例では、行き1便、帰りは2便というところが多い。

◎女性

集まって、乗降する場所が広がらないと。ただバスを出せばいいという問題ではない。迎えに行ける人もいれば仕事をしている人たちは迎えに行けない。そういう人たちのためにもバスとかもう少し具体的に話し合ってもらって、道路も狭いので、歩行者がきちんと通れるような道を整備してもらいたい。統合すればいいという問題ではなくて、どちらかが遠くなったりする。私は統合に関しては仕方がないというところがある。

ジャージとかはどのようになるのか。

○教育総務課長

今、お話をいただいたスクールバスやジャージの件等については、これから決めていかななくてはいけない。教育委員会としても、来年すぐに統合しますという示し方は考えていなくて、3年先にやりますというような間を空けたお示しの仕方をしようかと思っている。統合前2年間位を準備期間として、備

委員会等を組織し、スクールバスに関する部会の中で、今お話ができたようなことを協議し、決めてもらいたい。ジャージについては、多くのところでそのまま卒業してしまうというところもあると聞いている。買い替えるにも費用がかかるので、新しく入ってくる子から統合後の物を使ってもらっているというやり方をしているところもある。部会の中で皆さんが納得いくやり方を探してほしい。通学路については安全点検を実施し、道路幅を広げることは現実的に難しいと思うが、できることはやっていく。

◎女性

統合して、先生の確保というのは出来るのか。

○指導室長

事前に期間をもって、県とやり取りをするので問題はない。

◎女性

来る先生は、遠くから来ることになるのか。

○指導室長

だいたい山武郡市内の先生は、山武郡市内で異動している。一部八街の方からきているものもいるが。

◎女性

若い先生が来るのか。

○指導室長

教員の異動は、山武郡市内で異動するというのが多いので、若い先生が来るという訳ではない。

◎女性

話を聞くと、先生の授業のプランとかを立てるのがとても大変だと思う。先生が増えることによって先生の負担も減ることになると思う。

○指導室長

例えば小さい学校なので、運動会はなしという訳にはいかない。それぞれ行事があるので、小さい学校だと一人の教師が持つ分掌が多くなる。子どもと話をする時間が少なくなったりすることもある。体調を崩したときの代理がない状況になってしまうので、そういった面からもある程度の規模が必要である。

◎園長

今日、話を聞いていて強く思ったことがある。教育委員会に伝えることではないかと思うが、まちが荒廃したり、統廃合を進めていくということは、縮小する一方になってしまうので、引っ越しを考える人も出てくる。余計に市の財政も苦しくなるし、荒廃に繋がっていくのではないかと。子どもを育てる方々が、わざわざここに来て家を持つと考えられるような、まちのつくり方を考えてほしい。山武市に住みたいという市を目指してほしい。来てもらって、市が伸びていくようなまちづくりを進めてほしい。人数が増えればこのような話もなくなり、先生方も増えていき、病院関係も充実していく。出ていくまちではなく、入ってくるまちづくりを是非ともお願いしたい。

○教育総務課長

教育委員会としては、現状を考えてこのような話を進めている。国を挙げて地方創生ということで、人口を増やす取り組みをしなさいということで、市でも計画を作成している。現在、山武市には 54,000 人位居住しているが、出生率を無理やり 1.6 とか 1.8 にしたとしても、今の人数を維持していくのは無理だという推計になっている。国の推計では、山武市で何も取組まないと 25 年後には 35,000 人位になってしまう。山武市の地方創生のプランではここまで下げないために、少しでも減少率を抑えるよう

なプランになっている。ホームページ等をご覧いただくと確認できるので、一応取り組んでいるということ。